

# 性能試験

## ○試験方法

JIS A 6519 体育館用鋼製床下地  
構成材試験方法

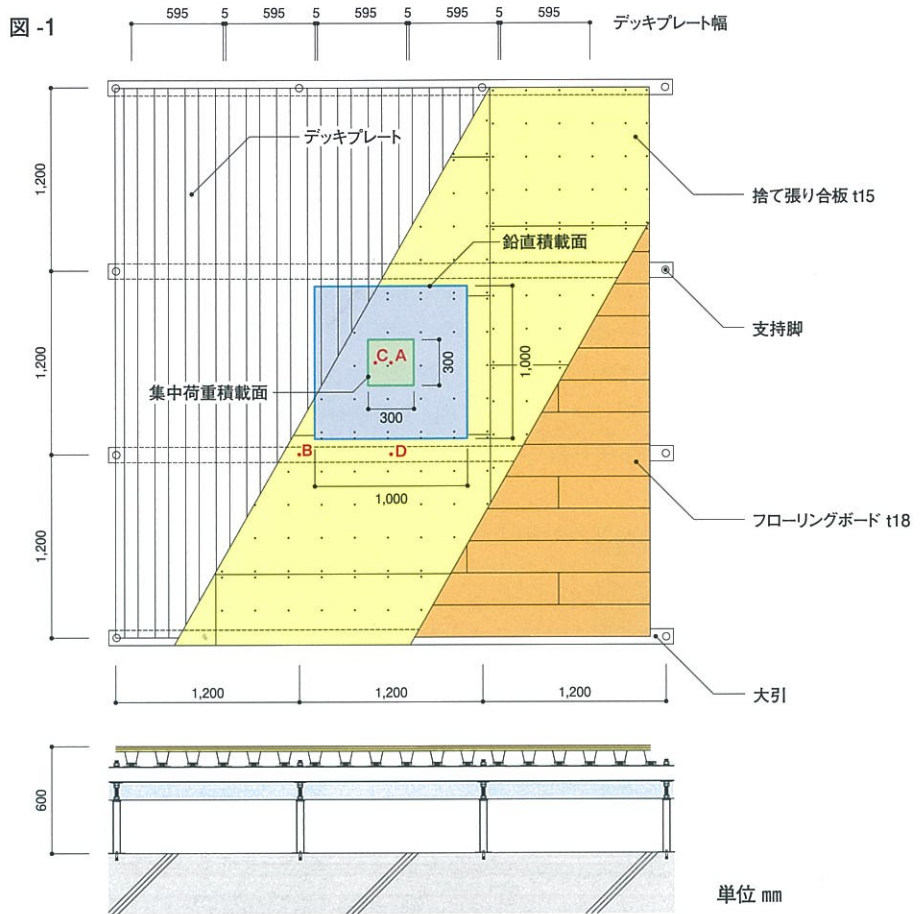
## ○試験機関

一般財団法人 建材試験センター

## ○試験体

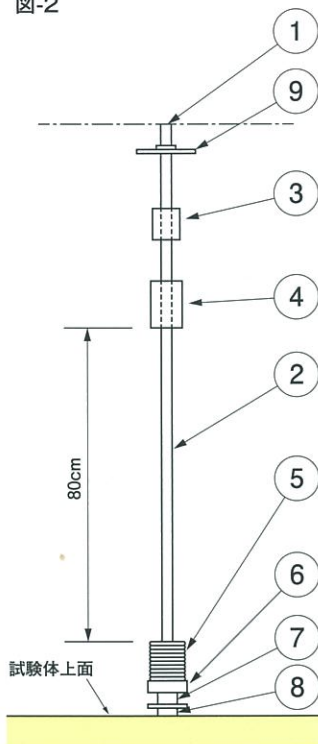
図-1の試験体

測定点：A、B、C、D



## ○床の弾力性測定装置

図-2



質量 5Kg のおもりを 80cm の高さから自由落下させ、試験体上部のゴムパネを介して、人間がジャンプし着地したときと同じ荷重を与えて、その時の人間の持っているエネルギーを吸収する「緩衝作用」と運動動作時に適度のはずみを与える「反発作用」および「振動の減衰作用」の 3 つの要素を複合し、その時の動的変形状を測定する装置（図-2）により行います。測定点は、図-1の中央 ABCD 各点

番号	名称
1	変位測定位置
2	重錘誘導管(直径27mm)
3	電磁石
4	おもり(5kg)
5	ゴムばね(外径80mm、 内径30mm、 厚さ100mm ショアA硬度10)
6	受け板(直径100mm)
7	荷重変換器
8	荷重板(直径50mm)
9	支持板

図-3 弾力性の評価値と物理量の関係

